



妊婦さんへのRSウイルスワクチンについて



●定期接種：2026年4月1日（水）より

●料 金：足利市内+市外（※1）の方は¥0、それら以外の方は33,000円（税込）

※1 栃木県内（足利市以外）、館林市、太田市、大泉町、邑楽町、千代田町の方は接種前にご自身で自治体へ連絡が必要。

●接種時期：妊娠28週～36週頃（28週頃が最も望ましいとされています。）

●接種回数：1回

※ワクチン在庫切れの際はご容赦下さい

●予 約：通院中妊婦：予約不要 接種希望日に受付で申込。 他院通院中妊婦：要 TEL 予約

よくある質問

Q 妊婦さんへのRSウイルスワクチンとは？

A アブリスボ®という名前のRSウイルスワクチンです。妊娠中に接種することでRSウイルスに対する抗体がお母さんの体で作られ、抗体が胎盤を介して赤ちゃんに移行することで、生まれてくる赤ちゃんのRSウイルスを原因とする下気道疾患（気管支炎や肺炎など）の発症や重症化を予防するワクチンです。

Q RSウイルスとは？

A RSウイルスは世界中に分布している呼吸器の感染症を引き起こすウイルスです。生後2歳までにほぼ100%が感染するとされています。

症状は感冒様症状から下気道感染に至るまで様々ですが、特に生後6か月未満で感染すると重症化することが示されています。日本では、毎年約12万～14万人の2歳未満の乳幼児がRSウイルス感染症と診断され、約4分の1（約3万人）が入院を必要とすると推定されています。しかし、有効な治療薬はなく、治療に難渋することがあります。また、月齢別の入院発生数は、生後1～2か月時点でピークとなるため、生後早期から予防策が必要とされています。